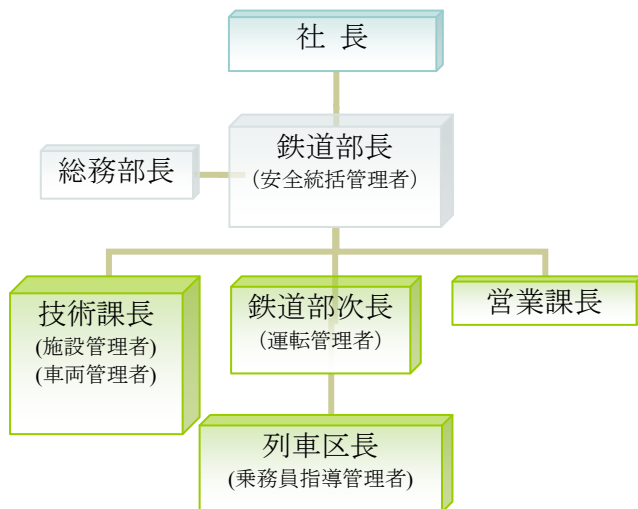


5 安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
鉄 道 部 長 (安全統括管理者)	輸送の安全確保に関する業務を統括する
鉄 道 部 次 長 (運 転 管 理 者)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
列 車 区 長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する
技 術 課 長 (施 設 管 理 者) (車 両 管 理 者)	安全統括管理者の指揮の下、施設・車両に関する事項を統括する

6 ご連絡先

安全報告書のご感想、弊社の安全の取組みについて、ご意見をお寄せ下さい。

上毛電気鉄道株式会社
 本社 総務部 お客様窓口
 月曜～金曜日 10:00～17:00

《メールでのご意見、ご要望》
 上毛電気鉄道ホームページ
<http://jomorailway.com>内のお問い合わせフォームから

《お電話でのご意見、ご要望》
 027-231-3597
 (総務部 お客様窓口)

371-0016
 群馬県前橋市城東町四丁目1番1号
 **上毛電気鉄道株式会社**
 TEL 027-231-3597
 FAX 027-231-3599
<http://jomorailway.com>

上毛電気鉄道 安全報告書 2016



この安全報告書は、上毛電気鉄道における鉄道輸送の安全の確保のための取組や、安全の実態をまとめたものです。

1 ごあいさつ

～ ご利用のお客様はじめ地元の皆様へ ～

当社の鉄道事業に対して、日頃からご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に『安全の確保』を掲げ、法令の遵守とともに日夜安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自らを振り返るとともに、地域のみなさまをはじめご利用いただくお客様に、より安心してご利用いただけるよう公表するものであります。今後とも鉄道事業にご理解をいただくとともに、ご意見等頂戴できれば幸いです。

上毛電気鉄道 取締役社長 古澤和秋

2 基本方針と安全目標

2-1 安全方針および安全行動規範

上毛電気鉄道では、安全に関する基本的な方針および安全に係る行動規範として、次のとおり定めております。

(1) 安全に関する基本的な方針

当社は、次の方針に従いお客様への「安全・安心」を確かなものとする。

- ① 「安全は上毛電気鉄道の事業の根幹である」との信念のもと「安全を最優先」し、「信頼される上毛電気鉄道」を目指す。
- ② 「上毛電気鉄道コンプライアンス基本方針」の精神に基づき、関係法令及び規程等を順守する。
- ③ 「安全対策に終わりはない」ことを常に念頭に置き、安全推進体制の継続的な見直しを進める。
- ④ 社員等一人ひとりが気付きの感度を高め、自ら考え、自ら行動することにより安全文化を創造していく。

(2) 安全に係る行動規範

- ① 社員等全員は、一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実かつ正確に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況について、把握するよう努めます。
- ④ 憶測に頼らず必要な確認の実行に努め、判断に迷った時は、最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、組織や職責に拘ることなく、その状況を冷静に判断し、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 輸送の安全に関する情報は漏れなく迅速、正確に伝え、情報の共有化に努めます。
- ⑦ 常に輸送の安全に関し、問題意識を持ち、必要な対策を実施するよう努めます。
- ⑧ 輸送の安全に関する知識・技能の習得・習熟に努めます。

2-2 安全目標

当社では、10年以上にわたって「重大事故・重大インシデント」（運輸安全委員会の調査対象となった事故等）はありませんでした。今後とも「重大事故・重大インシデント」のゼロの継続を目標として努力してまいります。

3 鉄道運転事故等の発生状況とその措置について

平成27年度に上毛電気鉄道で発生した鉄道運転事故等は、鉄道運転事故0件および輸送障害4件でありました。輸送障害の原因は設備故障、自然災害等によるものです。

3-1 鉄道運転事故等の件数

最近5か年間に発生した鉄道運転事故等の推移は、次の表のとおりです。

種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
鉄道運転事故 (踏切障害事故)		0件	2件	2件	0件	0件
輸送障害		6件	8件	13件	4件	4件

3-2 鉄道運転事故等の内容

(1) 鉄道運転事故

最近5か年間に発生した鉄道運転事故(踏切障害事故)の内容は、次のとおりです。

鉄道運転事故4件の内、第1種踏切道(警報機・遮断機付)で発生した事故が2件、第4種踏切道(設備なし)で発生したものが2件でした。

踏切道は平成27年度当初全体で106箇所あり、そのうち保安設備のない第4種踏切道が19箇所ありましたが、第1種甲踏切道(警報機・遮断機付)に1箇所更新するとともに1箇所廃止いたしました。引き続き第4種踏切道の第1種甲化に向けて鋭意取り組んでまいります。

(2) 輸送障害

平成27年度に発生した輸送障害4件の原因は次のとおりです。

設備の故障など	自然災害	第三者による事故など
1件	2件	1件

自然災害は雪害・雷害によるもの、第三者によるものは沿線火災、また設備の故障などが原因であるものは、その都度対策を施行し、再発防止に努めております。

4 輸送の安全確保のための取り組み

平成27年度に実施した主な安全確保のための取り組みは次のとおりです。

4-1 安全対策

(1) 信号保安設備

ア) 踏切保安設備

新屋～粕川間第6号踏切道に遮断機と警報機を設置し、第4種踏切道から第1種甲踏切道に整備するとともに、片貝～上泉間第2号踏切道の保安設備を更新いたしました。

イ) 運転状況記録装置

715-725号車、716-726号車の2編成(4両)に運転状況記録装置を新設いたしました。

(2) 変電所設備

大胡変電所の高圧配電設備等を更新いたしました。

(3) 車両設備

715-725号車、716-726号車の2編成(4両)の車両全般検査を行いました。

(4) 線路設備

堤川橋梁他3箇所(計4橋梁)の塗装、修繕工事を行いました。

4-2 安全のための支出

安全の維持・向上のため、安全関連設備への投資に約95百万円、施設、車両の修繕費に約130百万円を支出しております。

なお、当社によるこれらの安全のための支出は、国ならびに群馬県、沿線自治体からの助成により賅われております。

4-3 安全会議の開催

社長を議長とし、本社部課長ならびに現業の職場長による「安全会議」を開催し、鉄道運転事故等について再発防止の検討を行っています。